

2024 年度 授業概要

科目名		解剖学Ⅰ			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間	(4単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		必修・選択
必修								
〔授業の目的・ねらい〕								
作業療法にとって、骨や筋などの運動器及び、脳脊髄神経の理解は非常に重要になる。身体各部位の運動器や脳神経系についてその構造をしり、それが意味する事や機能を理解し、今後の作業療法学専門領域の学習の基礎を築く。								
〔授業全体の内容の概要〕								
・講義に加えて、スケッチや骨標本などを用いたイメージ作り、触診などの実技を随時加えながら行う。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
・全身の運動器系や脳神経系の名称から構造と機能が具体的にイメージでき、説明が出来る。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	解剖学用語と人体の区分							
3	骨格系総論							
4	筋系総論							
5	関節と靭帯総論							
6	骨・筋・関節靭帯各論（頭蓋・脊柱）①							
7	骨・筋・関節靭帯各論（頭蓋・脊柱）②							
8	骨・筋・関節靭帯各論（頭蓋・脊柱）③							
9	骨・筋・関節靭帯各論（肩甲帯・上肢）①							
10	骨・筋・関節靭帯各論（肩甲帯・上肢）②							
11	骨・筋・関節靭帯各論（肩甲帯・上肢）③							
12	骨・筋・関節靭帯各論（下肢帯・下肢）①							
13	骨・筋・関節靭帯各論（下肢帯・下肢）②							
14	骨・筋・関節靭帯各論（下肢帯・下肢）③							
15	まとめ							
16	神経系総論（区分、構成、髄膜と脳室系）							
17	中枢神経系（脊髄）							
18	〃（脳幹）							
19	〃（大脳・間脳）							
20	〃（大脳・大脳半球・大脳皮質）							
21	〃（大脳・大脳基底核）							
22	〃（上行性伝導路）							
23	〃（下行性伝導路）							
24	末梢神経系 脊髄神経（頭神経、頭神経叢）							
25	〃 脊髄神経（腕神経叢）							
26	〃 脊髄神経（胸神経、腰神経、腰神経叢）							
27	〃 脊髄神経（仙骨神経、仙骨神経叢）							
28	〃 脳神経（Ⅰ～Ⅳ）							
29	〃 脳神経（Ⅴ～Ⅷ）							
30	〃 脳神経（Ⅸ～ⅩⅡ）							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 解剖学	野村	医学書院
プロメテウス 解剖学コア アトラス	坂井	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする